

ひ 広報 天龍

第 104 号

2004年12月22日

私たちの村
—12月1日現在—
人口 2,098 人
男957人 女1,141人
世帯数 958 世帯

発行 天龍村役場
編集 総務課
印刷 斎藤印刷所

大平巖村長 就任



先に行われた、天龍村長選挙で当選を果たした、
大平巖村長が11月11日、
村民の方々や村職員に出迎えられ、
役場に初登庁しました。

※就任のあいさつは2ページ

就任のあいさつ

天龍村長 大平 嶽



この度、首長選挙により村長の責を拝命致しました。

もとより浅学非才にてそ

の器ではないと思っておりますが、多くの皆様の付託に応えるべく微力ながら最善の努力をして参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくご指導とご鞭撻の程お願い申し上げます。

現在、国内外を問わず変化の激しい情勢にあって、特に国の不安定な政治路線の責任転嫁を地方に求め、三位一体の行財政改革という看板のもと、大きな枷を各自治体が受けていることは承知の通りです。

こうした時期に村の舵取りを任せられた訳ですので、大変な責任を感じておりますが、まずは村民の皆様がこの村に住んで良かったと思われるむらづくりを最大のモットーとして福祉、経済、産業、教育、観光、文化等の各々の諸

施策を村民の皆様と共に考え、実施したいと思っておりますが、先般策定されましたむらづくり計画に多くの視点を抱いており、これを参考にして確実な施策をと考えております。

今早急に求められるものとしては、老人福祉と自立への対応ですが、県下で高齢者の多い村との名称を頂いていますが、言い換えれば長寿の村ともいえます。

選挙時の公約でも訴えたとおり、県下一の長寿村が更に日本一の長寿村になるようになると、このことを悲観的な問題と捉えず、よりよい方向へと発想を転換して、お年寄りというと医療介護の言葉が先走りますが、健康な方も多いわけでして、この方々に生きがいを求めて社会へもっと貢献して頂けることを視野に入れて、あらゆる分野への参加をお願いして参りたいと思っています。

勿論、医療介護のシステムはおろそかにするつもりではありません。

現在の対応を更に緻密にして誰もが安心して暮らせるように配慮して参りたいと思っています。

次は外貨についてですが、合併による対応が少し難しい現在、自立へ向けての対応は大変困難が待ち受けております。

しかしながら、即効性のあるもの持続できるものとしては、観光施策が良いと思われます。

産業振興も一つの選択肢ではあります、ある程度の期間が必要であり、農林業公社の設立後の推移をみても何ヶ年かの投資期間も必要であり、急速でできるものとして観光推進を挙げたいと思います。

まずこの地の特徴である川の利用です。

本村のダム湖は他町村には無い魅力のひとつでこれを観光に活かし、多くの観光客が平岡駅に降り立つ光景を一日でも早く実現したい。

これには駅前の駐車場の拡大、観光業との連携、宣伝等課題も多いですが実現したいと思っています。

その他あらゆるジャンルでの諸問題蓄積の中です。村の観光施設としての龍泉閣、天龍温泉の対策もそのひとつですが、現状から脱皮するためには、民間企業の感覚でお客様主体の経営が必須条件だと思います。

即民営化でなく、もう少し期間を頂き対応してみたいと思っています。

とりあえず、所感を申し上げ、今後村民各位のご意見を頂戴しながら進めて参りますので、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶とします。

秦 正村長退任

11月10日(水)に任期満了により勇退された秦 正村長の退任式が行われました。

秦 正村長は、昭和44年5月から昭和63年9月まで村委会議員を務められ、その後平成4年の村長選挙で初当選以来、3期12年にわたり天龍村の発展のために尽力されました。



12年間お疲れさまでした

林業公社の設立等、大規模な事業を手がけられ、多大な実績を残されました。

退任式では、全職員を前に涙を浮かべながら3期12年を振り返りつつ、まだ体力には余力を残している点も強調され、よりよい村づくりのためにこれからもアイデアを出していきたいと述べられ、村の発展のために一層努力するよう、職員へ訓辞を行いました。

これからも健康に気をつけられ、一村民として天龍村のためにお力を貸していただきたいと思います。

天龍村長選挙結果

10月31日(日)に行われました、天龍村長選挙の結果は次のとおりです。

| ○当日有権者数 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 |
|---------|------|------|------|------|--------|--------|------|------|--------|
| 1,826人 | 833人 | 993人 | 749人 | 875人 | 1,624人 | 1,129人 | 826人 | 993人 | 1,826人 |

| ○得票数 | ○投票率 | | | ○投票率 | | | ○投票率 | | |
|-------------------------------|-----------------------|-----------------------|--------------|--------------------|--------------------|-------------------|----------------|--------------|------------|
| | 計 | 女 | 男 | 計 | 女 | 男 | 計 | 女 | 男 |
| 堤本伊那 大平 巖 1,025 票 | 88 • 1,025 票 | 88 • 1,025 票 | 89 % 票 | 94 12 % 票 | 74 87 % 票 | 92 5 % 票 | 1, 624 人 | 99 3 人 | 1,826 人 |

議会だより

◆第1回天龍村議会臨時会

平成16年第1回天龍村議会臨時会が11月9日に開かれ、左記の議案について、原案どおり可決されました。

「可決された案件」

○天龍村立養護老人ホーム設置条例を制定する条例について専決処分の報告及び承認を求めるについての内容は、下伊那南部4か村老人福祉施設組合を解散し、17年4月から民間の法人等に管理運営委託をするため、必要な条例を制定するものです。

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について専決処分の報告及び承認を求めるについての内容は、人事院勧告により寒冷地手当の支給方法が変更となり、併せて、指定地域の見直しにより天龍村が指定解除地域となつたことによる、経過措置につい

「補正予算」

○平成16年度天龍村一般会計補正予算(第3号専決)

(単位:千円)

| 会計名 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|----------|-----------|-------|-----------|
| 一般 (第3号) | 2,427,773 | 6,194 | 2,433,967 |

てです。経過措置についての内容は、人事院勧告により寒冷地手当の支給方法が変更となり、併せて、指定地域の見直しにより天龍村が指定解除地域となつたことによる、経過措置につい

平成16年12月22日

II公聴会開催II



橋場公宣氏「住民の意見を広く多くの人から聞くことが、本来の村議会議員の使命ではなかろうかと考える。そのためにも今の定数を今後も堅持してもらいたい。」

金田正氏「村の財政、近隣町村の状況からみても8名に削減する必要がある。定数を削減しても、やり方次第で村民の意見は反映可能で活性化も図れると思う。」

この公聴会での意見等を参考に、今後議会で検討されます。

村議会議員定数は正に関する公聴会が11月19日に開催され、賛成、反対の立場で次のような趣旨の陳述が行われました。

天龍未来づくり委員会

活動報告 第1回

「天龍未来づくり委員会」がスタートしました！

村民の皆様による「むらづくり計画」の実現に向けて、当委員会では、具体的な取り組みを進めるための活動を始めました。

委員会の構成は、委員長に宮澤直祐さん（南下）、副委員長に野竹正孝さん（岡本）が選出され、金田正さん（松島）、関口達也さん（鶯巣）、平松和子さん（坂部）、男澤秀幸さん（東原）、熊谷秀敏さん（西原）の7人と項目ごとに役場職員が加わります。委員さんの任期は1年間とし今後取り組んでいただきます。

「取り組みの内容」

現在、第1段階として、「むらづくり計画」重点事項の細項目を、取組み主体の役割分担を明確にし、すぐできるもの・できないもの、急ぐもの・急がないものの分類・整理をしています。

第2段階として、この分類・整理をもとに、項目ごとに実現のための具体的手順の検討に入ります。この過程では、村民のみなさんからも豊かな知識、経験を持つた方、専門的な知識を持つた方、むらづくりへのアイディアをお持ちの方など、あるいは、取組み主体として欠くことができない各種団体の方々に参加を仰ぎ、ご意見をいただきながら、一つ一つ確実に実現可能なものを創り上げていきたいと思っています。

村では、全村挙げて、村民一人一人の知恵とパワーを集結して、村民が主体となつた住み良い、住んでいて良かつた、住んでみたい村づくりを進めていきたいと考えています。村民のみなさんのご協力とご理解をお願いします。

今後とも、「天龍未来づくり委員会」の協議結果は広報などで順次お知らせします。

提案の内容は、役場庁舎、なんでも館、龍泉閣、おきよめの湯の4箇所に提案ボックスを設置し、様々なご意見を投函していただき、意見に対する対応を広報でお知らせしていくというものです。

実現第1号



◆税に関するポスター標語 八選者発表

下伊那南部3か村(天龍村・
南信濃村・上村)租税教育推進協議会(協議会長・天龍村長大平巖会長)

「税金はみんなの暮らし

守ってる」

天龍中1年 仲間まりなさん

○飯田税務署長賞
「税金を納めて手にする
金メダル」

天龍中3年 上野 秀くん

○飯田法人会天龍支部長賞
「税金で明るい未来の
国造り」

天龍中2年 宮澤啓太くん

○天龍村青色申告会長賞
「社会づくり第一歩は
税金で」

天龍中3年 仲間優貴くん

として、税に関するポスターと標語を募集しました。今年度は天龍村が当番村として、9月末に各村代表者により審査を行い、11月12日～17日までの「税を考える週間」に合わせ、11月17日に、天龍村老人福祉センターで開催した平成15年度総会にて各賞の入選者を発表しました。

当村の受賞された生徒・児童は次のみなさんです。

☆ポスターの部

○協議会長賞
天龍小6年 永嶺 茜さん

○飯田税務署長賞
天龍小6年 宮澤昂平くん

○飯田法人会天龍支部長賞
天龍小6年 堤本光平くん

○天龍村青色申告会長賞
天龍小6年 福士冬吾くん

○協議会長賞
天龍中2年 仲恵理香さん

○協議会長賞
「税金は身近な所で人助け」

天龍中2年 仲恵理香さん

☆標語の部

天龍中2年 仲恵理香さん

受賞されたみなさんおめでとうございました。今回は、ポスター部門に天龍小学校六年生から四作品、標語部門に天龍中学校から三十二作品が展出され、応募された作品はどれも甲乙つけがたい本当にすばらしい作品ばかりでした。この協議会では、引き続き「税金」の役割やその仕組みを正しく理解し認識してもら

うため、社会や学校における租税教育を推進していく予定ですので、ご理解とご協力をお願いします。

ふるさとCM大賞



天龍村観光協会では、毎年30秒のCMを作成し「ふるさとCM大賞NAGANO」に応募し続けていますが、今年はビデオクラブと珍床劇団のみなさん共同制作による作品で挑戦し、見事1次審査を通過、11月27日に長野市内のホテルで収録された最終審査会に出場しました。

この「第4回ふるさとCM大賞NAGANO」模様は、1月10日午後3時から長野朝日放送(CATV9ch)で放送されますので、ぜひご覧ください。



「つちー」

2005農林業センサス

各種統計調査にご協力をお願いします

●2005農林業センサス

農林水産省では、来年2月1日現在で「2005農林業センサス」を実施します。

農林業センサスは、農林業の実態を明らかにし、国や都道府県、市区町村はもちろん各方面にわたり、広く利用できる総合的な統計資料を得るために実施する全国の農家や林家をはじめ、すべての農林業関係を対象に行われる、いわば『農林業の国勢調査』ともいいうべきものです。

みなさまのお宅や会社などに調査員が伺いましたらぜひご協力を

お願いします。

●工業統計調査

経済産業省では、12月31日現在で工業統計調査を行います。

12月下旬から来年1月にかけて、製造業を営む事業所に調査員が伺いますので、ご協力を

お願いします。

※なお、両調査とも調査表に記入いただいた内容については、統計法に基づき秘密は厳守されます。



11月20日・21日の2日間、なんでも館を会場として、毎年実施されている文化祭に産業展などを加えた「2004昇竜まつり」が開催されました。

今回で5回目を迎える「昇竜まつり」は、村民と農林商工業者などの各種団体が一体となってイベントを実施することにより、ふるさとのよさを再発見してもらおうとともに、村民同士のふれあいの場づくりなどを目的として、隔年で行われているものです。

両日とも、天候に恵まれ、天龍浄心太鼓のみなさんによる太鼓の演奏をはじめ、地元各種団体による農林物産の即売会や、産業展、健康コーナー、作品展示、ヨネスケトークショー、映画上映、公民館クラブ発表会、クラシック音楽・バレエ、なげ餅などが行われ、大勢のみなさんにご来場いたしました。また、盛大に実施することができました。

なお、開催期間中、ご協力いただきました周辺住民や関係者・なげ餅の景品をご提供いただきましたみなさんに、この場をお借りして厚くお礼申上げます。



▲クラシックバレエ
◆なげ餅



▲子供の広場

ヨネスケトークショー



▲発表会

▼オープニングセレモニー



▲ふるさと産業展



平成16年12月22日

**感謝状の贈呈
が行われました**

平成16年度村表彰及び国民健康保険健康表彰の授与式が、11月20日(土)の昇龍まつりの中で行われました。受賞者は次の皆さんです。

※感謝状※

◎鎌倉菓子店

長年にわたり、天龍村児童・生徒給食料の提供に、多大な貢献をされました。

◎株金田組

天龍村コミュニティーセンターの看板を寄贈されました。

◎熊谷 守氏

天龍村の教育福祉の向上に多額の寄付をされました。



民生・児童委員の改選

民生・児童委員の一斉改選が行われ、12月1日付で表内の方々に委嘱されました。今後3年間、しんぱい事相談や村の福祉の向上のためにご協力いただきます。生活上の問題などお気軽にご相談ください。

なお、今回の改選により、次の7名の方が退任されました。永年、地域福祉の向上にご尽力いただきましたことに心から感謝申し上げます。

| | | |
|---------|---------|---------|
| ○宮澤 吉久氏 | ○江崎 昌子氏 | ○板倉 好男氏 |
| ○村松 義明氏 | ○村澤 幸子氏 | ○村澤 好男氏 |
| ○村松 幹生氏 | ○正文氏 | ○正文氏 |
| ○育子氏 | | |

◆天龍村民生・児童委員名簿◆

(定員14名) 平成16年12月1日現在 任期3年

| 氏名 | 地区名 | 電話 | 担当地区 |
|-----------------|-----|---------|------------------|
| 塙田 市三 | 東原A | 32-3686 | 東原A、B・西原 |
| 熊谷 修吾 | 本町 | 32-2704 | 折立・清水・北・本町 |
| 柳澤 久恵 | 岡本 | 32-2021 | 中央・余野・岡本 |
| 遠山 順二 | 長野町 | 32-2214 | 長野・長野町 |
| 宮澤 久恵 | 南上 | 32-2622 | 南上・栄町 |
| 上野今朝江 | 南下 | 32-2036 | 南中・南下 |
| 大平 達子 | 松島 | 32-2377 | 松島・長沼・長島宇連・合戸・為栗 |
| 金田 隆 | 鷺巣 | 32-2221 | 鷺巣・十久保・下山 |
| 大平沙智子 | 中井侍 | 32-3389 | 中井侍・上平・鷺巣宇連 |
| 関トクミ | 坂部 | 32-3453 | 福島・倉の平・坂部 |
| 恩澤 龍雄 | 戸口 | 32-3270 | 中組・戸口・大久那 |
| 坂本 芳子 | 向方 | 32-3131 | 向方・峠山 |
| 村松 正治 | 梨畑 | 32-3574 | 梨畑・大河内・見遠 |
| 主任児童委員 宮澤みよ子 | 中央 | 32-2591 | 村内全域 |

**年末の交通安全
に注いで**

約書・住民票等(用紙は役場
窓口にあります)

申請期限

平成17年2月28日(月)まで。

お問合せ・受付
天龍村役場
住民課住民福祉係

年末の交通安全に注いでいます。
12月11日(土)から12月31日(金)にかけて年末交通安全運動が実施されています。
冬本番を迎え、降雪や凍結により道路状況が急激に変化する時期となりました。
また、年末年始はお酒を飲む機会が多くなる時期でもあります。
45歳以下で、天龍村に在住し、かつ永住の意思がある方には、期間内に申請用件が改正されています。
該当される方は、期間内に申請してください。

申請書類
申請書・職場の証明書・誓

あります。飲酒運転は絶対にせず、車に乗る際は必ずシートベルトを着用し、スピードの出し過ぎには十分注意してください。
また、現在天龍村はシートベルト着用強化地域に指定されています。目的地に定めています。目的地に関係なく、車に乗る際は必ずシートベルトを着用するようにしてください。

下伊那郡地方事務所からのお知らせ

言いたいほうだい「なんでもご意見箱」

～気軽に皆様の声をお寄せください～

コモンズ（美しい自然や伝統的な文化など、地域の大切なものを守り育むために、そこに暮らす人たちの思いを大切にするための仕組み）による地域づくりや南信州（飯田下伊那地域）の県機関に対して、皆さんが日頃感じているご意見・ご要望などをお寄せください。

「なんでもご意見箱」は管内18市町村の受付窓口と飯田合同庁舎1階受付に設置しております。（天龍村では役場正面玄関入口右に設置。）

皆さんから寄せられたご意見などは、すみやかに対応方法を検討し、県の施策等に積極的に反映させていきたいと思っております。

様式は、備え付けのものでも、それ以外でも結構ですが、住所・電話番号・氏名は、回答や問い合わせをさせていただく際に必要になりますので、差し支えない範囲でお書きください。

また、お寄せいただいたご意見について、皆様のプライバシーに万全の注意を払います。



2004 村のおもなできごと

- ・「自治と協働によるむらづくり村民会議」発足
 - ・特養天龍荘が広域連合から村社会福祉協議会へ移管
 - ・CATV施設完成、放送開始
 - ・浜名湖花博に天龍熊伏太鼓出演
 - ・「広報天龍」創刊100号
 - ・天龍小学校のブッポウソウ保護活動、財日本鳥類保護連盟会長賞を受賞
 - ・「地域と一体化したプロジェクト教育推進特区」認定される
 - ・役場機構改革で3課体制に
 - ・和知野川の水質が県下No.1に
 - ・ウガンダ少年少女野球チーム来村
 - ・天龍村むらづくり計画策定
 - ・「天龍未来づくり委員会」発足
 - ・ウィリアム・ローズ氏一行来村
 - ・大平巖新村長就任
 - ・天龍中学校PTA、文部科学大臣表彰を受賞
 - ・2004昇龍まつり開催

除雪の出動基準は、概ね10cmで、委託業者の判断により出動します。

村内の幹線道路の除雪は、建設業者へ委託し実施します。

『除雪対策について』

冬本番を迎へ、降雪、凍結が心配される時期となりました。

変ご迷惑をおかけしております
すが、ご理解をお願いします。
また、支線や歩道までは手
が回らない場合がありますの
で、利用者や地域のみなさん
が協力しあって除雪していく
だければ幸いです。

《龍圖錄》

村内幹線道路の凍結危険箇所へは、融雪剤（塩カル）・

砂を配布します。また、塩力
ルについては、役場・南支所
でも保管していますので、地
区内の公衆道路などで必要な
場合にはお申し出ください。
なお、塩カルが最も効果を
発揮するのは凍結した路面で
す。新雪への散布はあまり効
果が期待できませんので、除
雪後散布をお願いします。

また、地形的に村内には通
行の難所が多くありますので、
路面状況にあつた安全運転を
お願いします。



～水道の凍結にご注意ください～